

日本政治学会 会報

The JPSA News

NO. 17

MAY 1989

I P S A 企画委員会に参加して

渉外委員長 佐々木 毅

I P S A (世界政治学会) は昨年の夏の世界大会で新しい陣容を整え、1991年7月のブエノスアイレスでの世界大会に向けて準備を進めている。私は昨年、世界大会の企画委員に任命され、4月のパリでの企画委員会に初めて出席した。この機会をかりて世界大会の企画及び若干の点について会員の方々に報告し、御協力をお願いしたい。

世界大会は通常200を越える数のパネルからなっている。プログラム全体の骨組みをなすのは企画委員会の計画したパネルであるが、その他にI P S A 常設の32の研究委員会や、それに比べてややランクの低い研究グループがそれぞれの形でパネルを組織することになる。大会全体のテーマは企画委員会の決定によるが、そのテーマを研究委員会等がどのように受止め、どのような協力関係をつくるかといった甚だ厄介な問題がある。

ところで企画委員会は今度の場合、14名によって構成されている。この中にはI P S A 執行委員会から会長、副会長、事務局長などが加わっているため、私のような純粋の企画委員は少数派である。従って、執行委員会との一体性が非常に強いといえよう。委員長はジャン・レカ(仏・政治学研究所教授)で、会長のギレルモ・オドンネル(アルゼンチン)や副会長のゲアハルト・レームブルッフ(西独)、キャロル・ベイトマン(オーストラリア)、ハロルド・ジェイコブソン(アメリカ)など、日本でも知られた人々がメンバーになっている。

レカ委員長は2月にわれわれのもとへ企画についての最初の提案を行なったが、そのテーマは「現代政治における中心と周辺」というものであった。すなわち、今日の(世界)政治は一方で統合的側面を深めているが、他方ではその断片化が進

行しているのであって、この相矛盾する逆説的並存を単に中心と周辺とを二項対立的に考えるのではなく、ある種の相互連関の視点からとらえるような試みをしてはどうかというものであった。その具体的手順としては、政治学の既存の学問領域を尊重しつつ、全体を政治理論、政治社会学、政策分析、国際関係の四部門に分け、それぞれの領域でこのメイン・テーマにふさわしいものを選んでパネルを作ることを提案している。

企画委員会ではこれに対して、「中心と周辺」というのは余りに漠然としており、またその結果として具体的テーマが非常に拡散してしまうといった点が問題になり、もっと国際関係と国内政策とのリンケージといったものに絞ってはどうかといった提案が多く出された。その意味で上の部門のうち、政策分析と国際関係に重点が置かれることになりそうである。それと共にメイン・テーマも「国際化と非対称的権力関係」といったものにしてはどうかという意見が出された。委員長はここでの議論を踏まえて改めて近日中に再提案を行なう予定であり、これをもとに具体的なパネルのグループを決定し、地域的バランス等を考慮してそのパネルの組織者であるコンヴィーナーを依頼する作業に入る予定である。今年の夏のオスロの会議で全体の大枠が決まるはずであるが、日本からもさまざまな形で、何人かの会員に協力をお願いすることになるであろう。

今度の企画委員会の隠れた最大のテーマは果してどれだけの研究者がブエノスアイレスまで実際に出かけるのか、そう期待できるのかという問題であった。私もアジアの場合、極めて困難であることを述べたが、ヨーロッパからもこうした心配が寄せられたのは意外であった。そして、果して

学 会 ニ ュ ー ス

アルゼンチンで実際に開催可能であるかという大問題がその背後にあるのかも知れない。

最後にIPSAの機関誌であるInternational

Political Science Reviewの購入をお願いしたいとの依頼があったことを申し添えておきたい。

1988年度第4回理事会記録

12月3日、早稲田大学において理事会が開催され、以下の事項が協議・報告された。

[協議事項]

1. 1989年度総会・研究会日程の件
1989年度総会・研究会(神奈川大学)は、1987年10月7・8日(土・日)に開催することが決定された。
2. 新入会員承認の件
下記の者の再・新入会が承認された。
荒木勝、石田光義、川田稔、ジャメル, ジャン-リュック,
高杉忠明、武田節男、引田隆也、比屋根照夫
3. 前理事会からの申し送り事項の件
内田理事長の提案により「政治学および情報に関する委員会」の設置が承認され、委員長に田口(富久治)理事が選任された。
4. 次回理事会の件
1989年3月18日(土)午後1時30分から早稲田大学で開催されることが了承された。

[報告事項]

1. 委員会報告
各委員会から活動状況が報告された。
- ①年報委員会
1991年度年報のテーマを「占領期から戦

後期へ」とする旨の村松委員長のメモが、藤原理事から紹介された。

②企画委員会

1989年度研究会(神奈川大学)について、田中(治男)委員長から企画概要が説明された。

③文献委員会

中村(勝範)委員長から、1989年度文献委員が報告された。

文献委員: 小林良彰(慶応義塾大学)、五味俊樹(玉川大学)、佐々木信夫(東京都庁・東北福祉大学)、曾根泰教(慶応義塾大学)、玉井清(神奈川工科大学)、谷藤悦史(東北福祉大学)、寺島俊徳(大阪府立大学)、中村勝範(慶応義塾大学)、中村楼蘭(近畿大学)、吉田博司(八戸大学)

④渉外委員会

佐々木委員長から、1989・90年度渉外委員が報告された。

渉外委員: 有賀弘(東京大学)、五百旗頭真(神戸大学)、大河原伸夫(九州大学)、蒲島郁夫(筑波大学)、川人貞史(北海道大学)、北岡伸一(立教大学)、佐々木毅(東京大学)、下斗米伸夫(法政大学)、曾根泰教(慶応義塾大学)

1988年度第5回理事会記録

3月18日、早稲田大学において理事会が開催され、以下の事項が協議・報告された。

[協議事項]

1. 1988年度決算報告承認の件
藤原常務理事より1988年度の決算報告があり、岩重監事より監査報告がなされ、承認された(別掲4頁参照)。

2. 1989年度予算案承認の件

藤原常務理事より、1989年度予算案が説明され、一部修正の上承認された(別掲4頁参照)。

3. 理事選考委員会による選出理事交替の件

若尾理事から本務校異動のため理事辞任の申し出が出されていたが、理事選考事情を勘案し

て引続き理事をつとめていただくことが決定された。

4. 1991年度総会・研究会開催校選定の件
次回理事会までに1991年度総会・研究会開催校について推薦方を依頼することが了承された。
5. IPISA派遣費用支出要請の件
佐々木渉外委員長をIPISA企画委員会に派遣するため、その費用支出をIPISA基金運営委員会に要請することが了承された。
6. 入会申込書書式・入会手続き一部変更の件
入会申込書書式の一部変更が決定され、「今後、規約第7条に基づき、入会希望者は、理事会での入会承認ののち、初年度会費納入をもって会員登録がなされる(会員資格を獲得する)」ことが確認された。
7. 新入会員承認の件
下記の者の新・再入会が承認された。
浅川道夫、小澤一彦、高下一郎、斎藤悠美、竹田いさみ、竹村卓、八尾師誠、的射場敬一、吉原直樹、金井光太郎、横田善四郎
8. 次回理事会の件
1989年10月7日(土)午後12時から神奈川大学で開催されることが了承された。

[報告事項]

1. 委員会報告
各委員会から活動状況が報告された。
- ①企画委員会
<1989年度>
1989年度研究会について、田中(治男)委員長から企画概要(別掲5頁参照)が説明され、了承された。
<1990年度>
安委員長から、会場の都合上1990年度総会・研究会は、第1日目に分科会を熊本大学で、第2日目に共通論題を熊本商大で行ないたいという岡本理事(開催校担当)の意向が紹介され、1990年度企画委員が報告された。
企画委員:石川捷治(九州大学)、井田輝敏(北九州大学)、岩佐幹三(金沢大学)、岡沢憲芙(早稲田大学)、岡本宏(熊本大学)、小野耕二(名古屋大学)、加藤普章(大阪経済大学)、加茂利夫(大阪市立大学)、川端正久(龍谷大学)、木戸蒼(神戸大学)、柴田平三郎

(独協大学)、下斗米伸夫(法政大学)、高野清弘(大東文化大学)、高橋進(広島大学)、田中浩(一橋大学)、中野実(茨城大学)、中邨章(明治大学)、中村研一(北海道大学)、古城利明(中央大学)、本田弘(日本大学)、三谷太一郎(東京大学)、村松恵二(弘前大学)、安世舟(大東文化大学)、山田辰雄(慶応義塾大学)、和田守(静岡大学)

②年報委員会

<1988年度>

1988年度年報「転換期の福祉国家と政治学」が3月末日に刊行予定である旨、山口委員長から報告された。

<1989・1990年度>

研究会が予定どおり進行している旨、三谷(1989年度)・阿部(1990年度)各委員長から報告された。

1990年度年報委員:阿部斉(放送大学)、有賀弘(東京大学)、五十嵐武士(東京大学)、井上すず(独協大学)、瓜生洋一(大東文化大学)、小野紀明(神戸大学)、小山勉(九州大学)、金井光太郎(南山大学)、久保文明(慶応義塾大学)、田中治男(成蹊大学)、土倉莞爾(関西大学)、羽貝正美(新潟大学)、半澤孝慶(東京都立大学)、松本礼二(早稲田大学)
<1991年度>

研究会準備が進んでいる旨、村松委員長より報告があった。

③文献委員会

<1990年度>

文献委員の人選が進行中である旨、西田委員長から報告された。

④渉外委員会

佐々木委員長から、1991年度IPISA第15回世界大会の準備日程が説明され、委員長が4月にバリーで開催されるIPISA企画委員会に出席することが報告された。

⑤選挙管理委員会

1989年度の選挙管理委員および選挙日程について木坂委員長の報告書が配布された。

選挙管理委員:赤沢史朗(立命館大学)、石田徹(龍谷大学)、川端正久(龍谷大学)、木坂順一郎(龍谷大学)、白石克孝(龍谷大学)、田北亮介(龍谷大学)、西田毅(同志社大学)、的場敏博(京都大学) (6頁に続く)

学 会 ニ ュ ー ス

1988年度予算・決算			
		1988年度 予 算 額	1988年度 執 行 額
収 入	1. 前年度繰越金	7,320,440	7,320,440
	2. 会費収入	3,550,000	3,939,750
	3. 雑収入	130,000	418,163
	収入合計	11,000,440	11,678,353
支 出	1. 研究会開催費	900,000	884,000
	A. 研究会準備金	660,000	660,000
	B. 報告者謝礼	240,000	224,000
	2. 委員会経費	560,000	560,000
	A. 年報委員会	120,000	120,000
	B. 企画委員会	160,000	160,000
	C. 文献委員会	210,000	210,000
	D. 渉外委員会	70,000	70,000
	E. 選挙管理委員会	0	0
	3. 理事会経費	60,000	34,820
	4. IPSA学会分担金	250,000	187,153
	5. 事務局経費	840,000	719,060
	A. 理事長通信費	50,000	50,000
	B. 運営費	50,000	50,000
	C. 人件費	460,000	460,000
D. 経常費	280,000	159,060	
6. 名簿作成積立金	200,000	200,000	
7. IPSA関係積立金	100,000	100,000	
8. 選挙管理費	0	0	
9. 会報発行費	350,000	247,590	
10. 予備費	7,740,440	30,000	
支出合計	11,000,440	2,962,623	
差引残高			8,715,730

1989年度予算		
		1989年度 予 算 額
収 入	1. 前年度繰越金	8,715,730
	2. 会費収入	3,657,500
	3. 雑収入	120,000
	収入合計	12,493,230
支 出	1. 研究会開催費	980,000
	A. 研究会準備費	700,000
	B. 報告者謝礼	280,000
	2. 委員会経費	560,000
	A. 年報委員会	120,000
	B. 企画委員会	160,000
	C. 文献委員会	150,000
	D. 渉外委員会	100,000
	E. 選挙管理委員会	30,000
	3. 理事会経費	60,000
4. IPSA学会分担金	250,000	
5. 事務局経費	840,000	
A. 理事長通信費	50,000	
B. 運営費	50,000	
C. 人件費	460,000	
D. 経常費	280,000	
6. 名簿作成積立金	200,000	
7. IPSA関係積立金	100,000	
8. 選挙管理費	360,000	
9. 会報発行費	350,000	
10. 予備費	8,793,230	
支出合計	12,493,230	
差引残高		0

別会計(1) 名簿作成積立金	
収入	
前年度よりの繰越	519,281
本年度積立	200,000
銀行預金利息	9,060
計	728,341
支出	641,490
差引残高	86,851

別会計(2) IPSA関係積立金	
収入	
前年度よりの繰越	514,810
本年度積立	100,000
銀行預金利息	10,974
計	625,784
支出	0
差引残高	625,784

IPSA基金	
収入	
前年度よりの繰越	9,805,766
銀行預金利息	342,803
計	10,148,569
支出	992,000
差引残高	9,156,569

学 会 ニ ュ ー ス

1989年度研究会企画

第1日(10月7日)

共通論題A 再調整の政治過程

司会 高島通敏(立教大学)

報告 石川真澄(朝日新聞社):再調整の政治
大森 彌(東京大学):再調整の行政
神原 勝(北海道大学):再調整の自治

分科会A 現代都市政治と議会

司会 村松岐夫(京都大学)

報告 伊藤光利(名古屋市立大学):地方議会研究再考
寄本勝美(早稲田大学):ピッツバーグ市政と市議会

討論 中野 実(茨城大学)
荒木昭次郎(東海大学)

分科会B 政治思想:中世から近世へ

司会 有賀 弘(東京大学)

報告 鷺見誠一(慶応義塾大学):パドヴァのマルシリウスにおける権力の正当化論
清未尊大(北海道教育大学):ジャン・ボダン『国家論』における権力論と統治論

討論 佐々木毅(東京大学)
小野紀明(神戸大学)

分科会C 国際政治経済における統合と協力
—ヨーロッパ圏とアジア・太平洋圏の比較—

司会 白井久和(独協大学)

報告 田中俊郎(慶応義塾大学):EC市場統合と域外諸国

竹田いさみ(独協大学):状況としてのアジア・太平洋協力

討論 大隈 宏(成城大学)
桐山 昇(中央大学)

分科会D アメリカ大統領制の今日的位相

司会 竹尾 隆(神奈川大学)

報告 成田博之(横浜国立大学):アメリカの国家・公共政策・政党—比較政治論的視点から

高杉忠明(神田外国語大学):ポスト産業化社会における大統領の役割

討論 木村昌人(東海大学)
西川敏之(駿河台大学)

第二日(10月8日)

共通論題B フランス革命への新しい視角

司会 樋口謹一(仏教大学)

報告 瓜生洋一(大東文化大学):空間と革命—中央・地方関係を中心として:1789年から99年まで

岡本 明(広島大学):リベラリズムとボナパルティスム—総裁政府から百日天下まで

高下一郎(東京外国語大学):「向う岸」から見たフランス革命—イタリアにおけるアルフィエーリの場合

討論 井上すず(独協大学)
松本礼二(早稲田大学)

分科会E 明治憲法体制の諸問題

司会 酒田正敏(明治学院大学)

報告 坂本一登(青山学院女子短期大学):明治憲法と宮中制度—伊藤博文を中心として

楠精一郎(高崎経済大学):明治憲法と植民地—昭和20年外地参政権問題

討論 溝部英章(京都産業大学)
坂本多加雄(学習院大学)

分科会F フランス革命と周辺世界

司会 木村雅昭(京都大学)

報告 八尾師誠(東京外国語大学):近代イランにおける立憲主義思想—フランス革命との関連において
佐藤慎一(東京大学):フランス革命と中国革命

討論 早坂真理(茨城大学)
宮村治雄(東京都立大学)

分科会G サッチャー主義とイギリス政治の転換

司会 河合秀和(学習院大学)

報告 高橋直樹(上智大学):政党政治史におけるサッチャー主義
阪野智一(神戸大学):サッチャー政権下における新保守主義の展開

討論 梅津 実(同志社大学)
森田 朗(千葉大学)

分科会H 現代政治理論の現況

司会 山川雄巳(関西大学)

報告 田中愛治(東洋英和女学院大学):政治学における計量分析の展開—近年の政治意識論・政治行動論を中心に
小林良彰(慶応義塾大学):政治学における数理モデルの展開—選挙行動研究を中心として

討論 蒲島都夫(筑波大学)
依田 博(神戸大学)

学 会 ニ ュ ー ス

(3頁より続く)

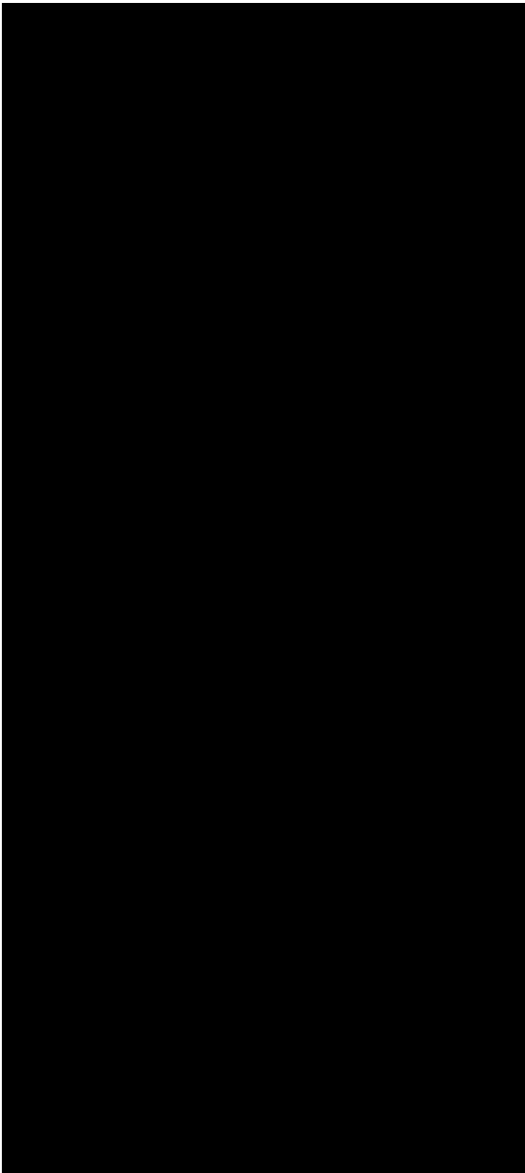
⑥「政治学・情報に関する臨時委員会」

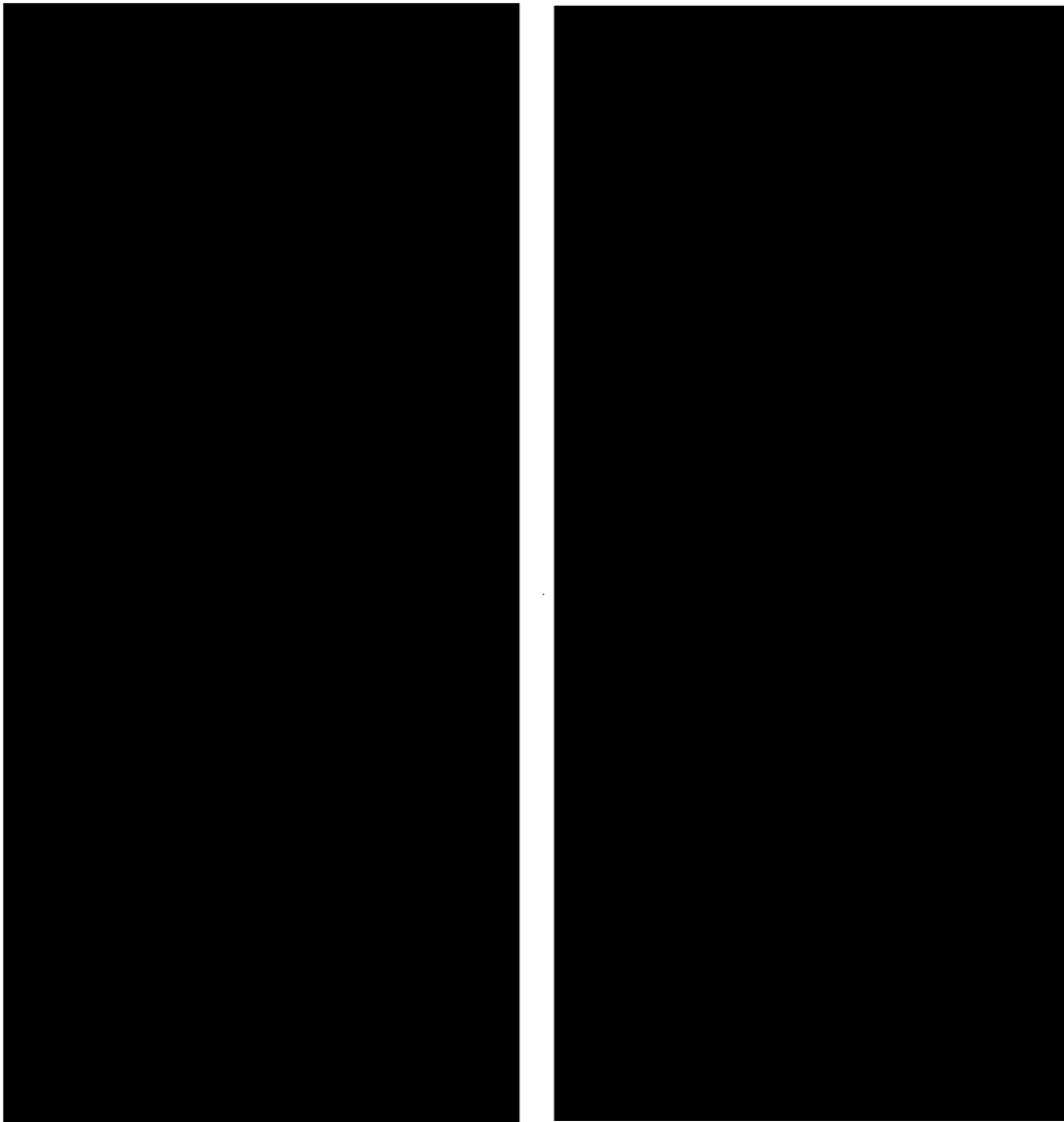
田口(富久治)委員長から、データベースを含む情報処理および情報機器に関して、大学・研究所あるいは会員を含む政治学研究者を対象とするアンケート調査の実施を計画している旨、

報告された。

委員：小野耕二(名古屋大学)、小林良彰(慶応義塾大学)、新藤宗幸(立教大学)、田口富久治(名古屋大学)、馬場康雄(東京大学)、星野智(中央大学)、的場敏博(京都大学)、三宅一郎(神戸大学)、山川雄巳(関西大学)

会 員 の 異 動 (1 9 8 9 年 5 月 9 日 現 在)





事 務 局 よ り

入会手続きについての確認事項

1988年度第5回理事会において、「今後、規約第7条に基づき、入会希望者は、理事会での入会承認ののち、初年度会費納入をもって会員登

録がなされる（会員資格を獲得する）」ことが確認されました。したがって、今後、理事会で入会が承認された方については、その氏名だけが、初年度会費を納入し会員登録がなされた方（会員資格を獲得した方）については、連絡先、所属、専門分野等、名簿記載事項の詳細が、会報に掲載されることとなります。

学 会 ニ ュ ー ス

入会申込書書式変更について

入会申込書の書式が変更されました。会員名簿の書式にあわせて、横書きにし、新たに「専門分類索引番号」記入欄を設けました。必要な方は、事務局までご請求ください。

IPSA役員および機関誌の購入について

佐々木渉外委員長長の報告にもありますように、日本政治学会とIPSAとの関係は最近より緊密になってきております。IPSAの現在の主要役員氏名と事務局アドレスは、下記のとおりです。

会 長 ギレルモ・オドンネル (アゼンチン)
副 会 長 ゲアハルト・レームブルッフ (西独)
 キャロル・ペイトマン (オーストラリア)
 チャン・フー (中国)
 ハロルド・ジェイコブソン (アメリカ)
 ウィリアム・スミルノフ (ソ連)
事務局長 フランシスコ・シェルバーク (ノルウェー)
事務局 University of Oslo
 Institute of Political Science
 P.O.Box 1097, Blindern
 0317 Oslo 3, Norway

なお、IPSA機関誌 International Political Science Reviewの購入を希望される方は、下記にお申し込みください。クレジット・カードでも支払い可能とのことです。

Jane Skinner
Butterworth Scientific Limited
Westbury House, Bury Street
Guildford, Surrey, GU25BH, UK

関連学会の研究会開催予定

政治思想研究会 (JAPAN CSPT)
第1回研究集会『政治思想と政治哲学：課題と方法』
日時：5月27・28日

会場：早稲田大学政治経済学部 第一会議室
英国シェフィールド大学日本研究センター
創立25周年記念国際シンポジウム『日本の国際化をめぐる』

日時：9月21～23日

会場：シェフィールド大学 タブトンホール
(詳細は、Professor Glenn D.Hook, Director
Center for Japanese Studies
The University of Sheffield
Sheffield S10 2TN
Tel: Sheffield 768555
England, U.K. まで)

社会思想史学会第14回大会 10月6～9日

会費納入についてのお願い

新年度にあたり、1989年度の会費(3,500円)を同封の振込用紙にてお支払いいただきますようお願いいたします。そのさい、住所・電話・勤務先・所属・職位等に変更がございましたら、あわせてお知らせいただければ幸いです。

訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

菊地 宏 氏 (福岡女子大学) 1988年10月10日
宮沢 健 氏 (近畿大学) 1989年2月1日
中沢精次郎 氏 (慶応義塾大学) 1989年3月26日

1989年5月20日

発行 日本政治学会事務局

藤 原 保 信

〒169 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学大学院政治学研究科内

TEL 03-203-4141-3113

郵便振替番号 東京 0-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 有限会社 法文堂タイプ社